

緑化だより

No.84 平成25年6月号



ナツツバキ 平成24年6月28日撮影

- きのこの香り(3)
- 初夏の園芸作業
- 野鳥の世界(キクイタダキ)
- 研修会のご案内
- 緑化相談から思うこと
- お知らせ・ご案内



生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

きのこの香り

(3) ニオイコベニタケ(匂小紅茸)

4月から、特徴のある香りを持ったきのこをとりあげています。

3回目は、ニオイコベニタケです。

図鑑では“カブトムシのような匂い”と表現されているものが多いのですが、筆者はカブトムシにあまりなじみがないのでよくわかりません。果実臭とも書かれているものを見てやっと納得しました。

ニオイコベニタケはマツ科やブナ科の樹木の林地に夏～秋に発生します。傘の直径は2～4.5cmと小型で、表面はつやなく粉状です。色は美しいバラ紅色、時に濃淡のまだらになりますが雨に遇えば退色しやすいです。食毒不明とされています。食べられるとしても、小さくて菌ごたえもボソボソしているので食用価値もないと思われます。

ニオイコベニタケに類似して、カブトムシの匂い、もしくは果実臭がするキノコに、ムラサキカスリタケ(傘はワイン色～赤紫色)とケショウハツ(傘は淡黄色地にうすい桃色のぼかしがあり桃の果実のよう)があり、どちらも食用となっています。(川上)



ニオイコベニタケ

野鳥の世界

キクイタダキ

キクイタダキは野鳥の中でも小さい小鳥の代表です。

体長約10cmとスズメよりずっと小さく、動きも活発で速く、その姿を見ようと思ってもついていけないほどです。普段は人の目につきにくい高い松の枝先のようなところで餌を探しています。

頭頂の黄色はほとんど見ることはできませんが、名前の語源は、頭の上に菊の花びらを乗せているように見える事からついたようです。小さくてオリーブグリーンの色は上品で、羽縁の白色が目立ちます。「ツィー・ツリ・リ」と細く高いさえずりも可愛さを引き立てます。

今年は寒波のためか、センター内でもその姿を見る事ができました。しかも地上に近い低い木や、コケのついた木や石に降りて採食していたため、頭頂部の黄色い線やその内側の橙色など、美しい姿を観察する事ができ、薄い白色に囲まれた小さな丸い目元も可愛く、ワクワクさせてくれました。

5～10羽の群れを作って採食しているようですが、雄雌で地上近くに採食のため降りた時が観察のチャンスです。(吉見)



キクイタダキ

緑化相談から思うこと

緑化センターでは緑化相談を受けています。

相談の内容は、「きのこ」に始まり「マツ枯れ」、「開花不良」、「枯死」、「移植について」、「病虫害対策」、「植物名」など様々です。

植物の種類、年数、大きさ、環境、管理、病虫害の状況などが判れば少しは的確にお答えすることができるのですが、回答が困難なことがあります。

お電話で「うちの松が枯れだしたんじゃが、どうしたらええかいのう」とのご質問。松の種類、大きさ、植えて何年くらいたつのか、どんな管理をされているか、いつ頃から枯れ始めたかなどお尋ねしても、とにかく「葉が茶色になりよるんじゃ」の一点張り。枯れた葉と写真を送っていただいて、わかる範囲でなんとかお答えした事があります。

ウメ、サルスベリ、アジサイ、ツツジなど花の咲く木についてのご相談で、「花が咲かない」、「花つきが悪くなった」などがありますが、管理の仕方、土壌の条件、日当り条件、病虫害対策、剪定時期、水やり等で大きく左右されますので、それらがはっきりすれば問題点が分かり、お答えすることが出来ます。

以前、「百年くらいたつヒヨクヒバが」枯れ始めたのご相談があり、現地に行って見たところ、高さ十数メートルあった幹を大きく切り、それも寒い時期に行ったとのこと。

針葉樹の古木では、寒い時期の強い剪定は枯れ込むことがしばしばあります。長く伸びている根の周りの土壌を改良し、枯れ下がった枝を整え、栄養剤を与えて元気になりましたが、元の姿には戻りませんでした。

生活に潤いを与えてくれる植物に、愛情をもって接し、観察し、親身になって関ってやればきっと応えてくれるものと信じています。(正本)

初夏の園芸作業

6月になると、夏から秋に咲く花は元気に成長しますが、これからの時期、次のことに気をつけてやると、夏の暑さを乗り切り、秋まで花を咲かせてくれます。

水やり 気温が高くない早朝か夕方、タップリ水やりをして下さい。

ダメージをうけ萎れたままの植物は、回復が遅れると株が弱るので気をつけましょう。

追肥 ペチュニアなどの花は、次々と花を咲かせると栄養分を消費し、株が弱ります。

リン酸分が多めの肥料を追肥として与えるか、水やりの時、1週間に一度液肥をやるなど養分補給すると良いでしょう。

病虫害 高温、乾燥するとハダニやアブラムシ、スリップスが発生しやすくなります。水やりの時、葉の裏や、芽の部分にもかかるようにすれば、予防できます。もし葉の色が変色したり、縮れたり、花つきが悪くなったりした場合、それらがついていることが考えられますので殺ダニ剤、殺虫剤を散布して下さい。(山根)



ハダニの害による葉の裏側

研修会のご案内

- 6月9日(日) 『6月の自然探勝』
6月の樹木や花を観察しよう
10:00～12:00 管理事務所前集合
講師:環境カウンセラー・
自然観察指導員 和田 秀次
- 6月13日(木) 『庭木の手入れ』
剪定の基本とマツの緑摘みを学びます
10:00～12:00 学習室 集合
講師:NPO 法人 樹木医ひろしま
工藤 徹
- 6月16日(日) 『名水あれこれ』
あの名水・この湧水・あの温泉・この名湯
10:00～12:00 学習室 集合
講師:広島国際学院大学教授
佐々木 健
- 6月18日(火) 『葉による樹木見分け講座』
園内の樹木の葉を観察しながら
樹木の名前を調べるテクニックを学びましょう
10:00～12:00 学習室 集合
講師:樹木図鑑作家 林 将之
※ 要予約(先着20名) 定員に達したため締め切りました。
- 特別研修会 6月23日(日)
『第五の季節「梅雨」と上手につきあいましょう』
気象キャスターによるお天気のお話・放送の裏話
10:00～12:00 学習室 集合
講師:NHK 気象キャスター 太田 景子

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

第12回ひろしま「山の日」県民の集い 6月2日(日) 10:00～15:00

レストハウス周辺及び園内で、記念植樹などイベントを行います。

◎ 展示会のお知らせ

展示場所:レストハウス

(ガラスケース)

趣味の手作り小物作品展

5月29日(水)～6月25日(火)

きのこの常設展示

(ボード展示)

愛鳥週間原画コンクール入賞作品展

6月7日(金)～6月30日(日)



趣味の手作り小物作品展

6月の休園日は月曜日です。

表紙: ナツツバキ ツバキ科

別名シャラノキ。6～7月に白い花をつける。

材は割れにくいいため床柱や印材などに利用される。